

記者発表 (発表) 資料配布)				
月/日 (曜日)	担当事務所 担当課	電 話	発 表 者 名 (担当課長名)	その他配布先 (時間)
7月25日 (月)	淡路県民局 洲本土木事務所	0799(26)2057	洲本土木事務所長 田中 修平 (ダム管理課長 谷元 雅哉)	—

「旧成相池堰堤」選奨土木遺産認定記念碑の設置について

「旧成相池堰堤」は 2021 年度土木学会の選奨土木遺産に認定されました。これを記念し、現地に認定プレートをはめ込んだ石碑を設置しましたのでお知らせします。

記念碑にあわせて旧成相池堰堤の建設から現在に至るまでの経緯を記した説明板も併設しておりますので、多くの方にこの歴史的構造物を見学にいただき、水源開発に取り組んだ先人の努力が後世に広く伝わることを期待しております。

1. 所在地

南あわじ市八木馬廻 (成相ダム周辺) ※別紙参照

2. 認定理由

- (1) かんがい用水を確保するため、水源開発に取り組んだ先人の努力を後世に伝える構造物であること
- (2) 建設当初(昭和 25 年完成)の粗石モルタル造の姿が今日まで保持されていること

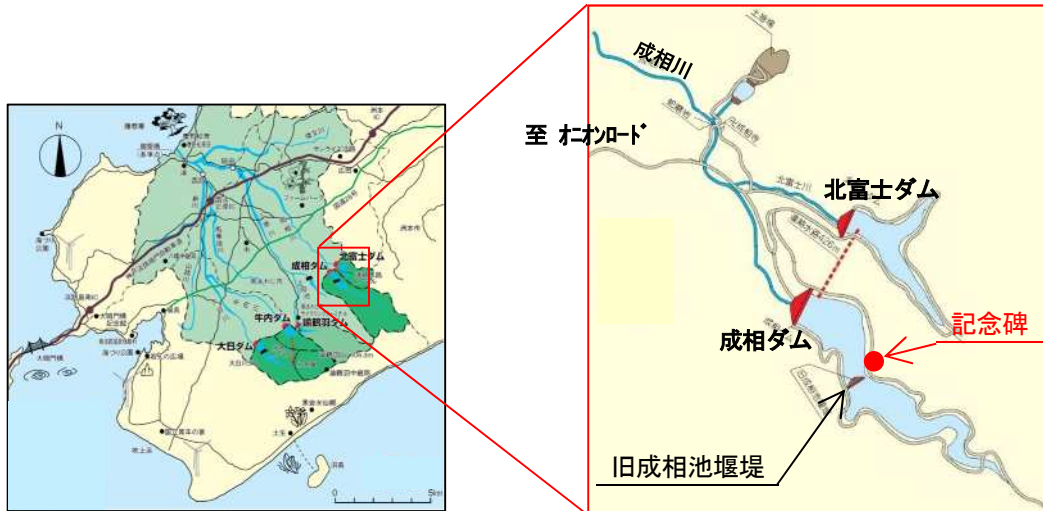
3. 県下の既認定選奨土木遺産 (全 19 件)

- ①旧神戸外国人居留地下水渠(神戸市)、②御坂サイフォン(三木市)
- ③武庫大橋(尼崎市・西宮市)、④上田池堰堤(南あわじ市)、⑤平木橋(加古川市)
- ⑥鐘ヶ坂隧道(丹波市)、⑦湊川隧道(神戸市)、⑧旧余部橋梁(美方郡香美町)
- ⑨竹野川橋梁(豊岡市)田君川橋梁(美方郡新温泉町)、⑩金慶橋(神戸市)
- ⑪阪神・淡路大震災による被災構造物群(神戸市)、⑫江崎灯台(淡路市)
- ⑬業平橋(芦屋市)、⑭逆瀬川の砂防設備(宝塚市)
- ⑮阪急電鉄神戸市内線高架橋(神戸市)、⑯姫路市営モノレール遺構群(姫路市)
- ⑰豊岡市水道の創設期施設(豊岡市)、⑱旧成相池堰堤 (南あわじ市)
- ⑲和田旋回橋 (神戸市)

4. 土木学会選奨土木遺産の定義等

- (1) 公益法人土木学会が、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として認定した土木構造物
- (2) 平成 12 年から推薦及び一般公募により、年間 20 件程度を選出

1. 位置図



2. 記念碑と説明板



記念碑（認定プレート）



説明板

3. 説明板記載内容

旧成相池堰堤のあるこの地域では、渇水時に深刻な水不足に見舞われてきた。

当堰堤は、1929(昭和4)年に計画され、1937(昭和12)年に着工、1950(昭和25)年に完成した粗石モルタル造の重力式ダムである。計画当初は地元負担の少ない土堰堤であったが施工技術や安全性で経験のあった近隣の上田池堰堤(平成20年度土木学会選奨土木遺産)と同じ粗石モルタル造の重力式ダムに計画変更した経緯がある。

起工から完成までの間、既得水利との調整や資金の調達、あるいは第二次世界大戦に伴う労力、資材の欠乏等により幾度かその進行を阻まれたが、13年の歳月をかけて悲願が達せられた。

その一方、下流域では平低地でたびたび洪水被害を受けてきたことから1982(昭和57)年に「三原川総合開発事業計画」が策定され、1999(平成11)年旧成相池堰堤は下流に成相ダムが建設されたことで、上部を除き成相ダム湖内に水没保全されることとなった。

下流に成相ダムができ、堰堤としての役目は終えたが、水源開発にかかる先人の苦労や熱意を後世に伝えるため、湖水中に没したまま、当時の姿をとどめて保存している。